

Ⅵ 生涯学習課

1 庶務係

(1) 社会教育委員会議の開催状況

- ① 会議の種類 定例会（年2回開催6月・11月）
- ② 構 成 員 社会教育委員（総務民生常任委員会委員長、社会福祉協議会会長、蟹江中学校校長、蟹江小学校校長、ボランティア会（婦人会）会長、文化協会会長、スポーツ協会会長、PTA連絡協議会会長、嘱託員会会長、学識経験者）、教育長、教育部次長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、生涯学習課主任

(2) 会議の運営状況

令和6年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和6年 6月26日（水） （定例会）	【件名】 1 令和5年度事業報告について ① 生涯学習課事業報告について ② 蟹江町図書館事業報告について 2 令和6年度事業計画について ① 生涯学習課事業計画について ② 蟹江町図書館事業計画について
令和6年 11月14日（木） （定例会）	【件名】 1 令和6年度事業中間報告について（令和6年4月～9月） ① 生涯学習課事業について ② 蟹江町図書館事業について 2 令和7年度事業計画（案）について ① 生涯学習課事業計画（案）について ② 蟹江町図書館事業計画（案）について

2 生涯学習係

(1) 生涯学習事業

講座・各種教室の開催（令和6年度実績）

① 生涯学習講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
若者の学び・体験・交流事業	1回	24人	13人

お父さんたちの料理教室	3回	各回24人	①13人 ②12人 ③11人
レザークラフト体験教室	2回	各回15人	①11人 ②14人
蟹江町の地学講座	3回	30人	58人

〔点検・評価〕

生涯学習・文化活動の拠点である蟹江中央公民館・分館等を会場として、各種講座を実施し、若者から高齢者まで幅広い世代の方に対し学習や交流の場を提供した。今後も、町民のニーズに応えられる事業が展開できるよう努めたい。

(2) 家庭教育事業

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
親と子の体験教室	1回	10組20人	8組18人	名古屋市港防災センター・蟹江中央公民館
キャンプ教室	1回	13家族	13家族	つぐ高原グリーンパーク
ちょこっと探検隊	1回	16組32人	16組33人	名古屋市消防航空隊・オアシスパーク

〔点検・評価〕

親と子の体験教室では、名古屋市港防災センターの見学や段ボールベッド作り、簡易トイレの扱い方、防災食の試食等の体験を行った。家族で一緒に体験することで、防災意識とともに家族の絆も深まった。

親子キャンプ教室では、安全に考慮しつつ、野外での体験が楽しくできるよう工夫して開催した。

ちょこっと探検隊は、防災ヘリコプターの見学や救助資材の説明を聞くなど、家族で普段できない貴重な体験をすることで、参加した子どもが航空隊の仕事に興味を持つなどの効果があった。引き続き実施していきたい。

(3) 青少年健全育成事業

① 青少年講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室	2回	各20人	第1回21人 第2回9人	蟹江中央公民館
木工体験教室	2回	各10人	第1回12人 第2回12人	蟹江中央公民館

② はたちの集い

「はたち」を迎える方が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：令和7年1月12日(日) 対象者：358人 参加者：281人

③ 蟹江町中学生沖縄県読谷村・大宜味村交流事業

町在住の中学生を沖縄県へ派遣し、地元（大宜味村）中学生との交流や民泊（読谷村）をとおり、伝統・文化を学ぶ。

実施日：令和6年8月20日(火)～22日(木)

募集人員：12人 参加者：8人

④ 青少年健全育成運動

開催日：令和6年7月16日(火)、令和6年11月19日(火)

青少年の非行防止のため、研修会（講演）や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

子ども体験教室では小学1～3年生を対象に、クリスマスリース作りを行い、サンタクロースや雪だるまなどのパーツを自分で考えたレイアウトで取り付けて完成させた。木工体験教室では、小学4～6年生を対象におうち型貯金箱の製作をし、道具の扱いやものづくりの楽しさを学ぶ機会となった。これからも子どもたちの創造力や達成感を育てていける教室づくりに努めていきたい。

はたちの集いは、町外へ転出している方も、手続きを経て当町で出席できるため、出席率もよい。また、午後からの開催となるため、時間に余裕をもって着付け等の準備ができることが好評を得ている。

蟹江町中学生沖縄県読谷村・大宜味村交流事業においては、初めて大宜味村の中学生と蟹江町の中学生が交流した。互いの文化を紹介し合うだけでなく、バーベキューやドッジボール、村内見学等で交流を深めることができた。また、読谷村の民泊の方との交流や、旧海軍指令部壕等を見学することで、沖縄県の歴史文化への理解を深め、戦争や平和について考える機会となった。当事業では事前学習や事後研修を行い、成果のまとめを文化祭や中学校等で掲示するなどして情報発信を行った。今後も、派遣した中学生が多くのかつを体験し学ぶことができるよう、充実した内容で実施していきたい。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9部門 43団体 443人 補助金1,055,050円

② 蟹江町ボランティア会（婦人会）

心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、補助金を交付し支援する。

8支部 17,327世帯 補助金1,266,350円

③ 蟹江町小中学校PTA

学校との連携を行い、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPT

A活動に対し、交付金を交付し支援する。

7 小中学校 2,649人 交付金1,274,460円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、生涯学習関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の交流を深めることができた。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会

青少年健全育成・家庭教育・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 令和6年7月7日(日)
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館 集会室

○文化交流会

蟹江町 西川流紀和会 日本舞踊
沖縄県読谷村 上地自治会 琉球空手・古武道

② 文化祭

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の交流と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 令和6年11月2日(土)・3日(日)
展示の部 38団体・個人7人
芸能の部 16団体
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第一部は生涯学習の取組や中学生の主張の発表、第二部は「文化交流会」として、沖縄県読谷村の上地自治会を招待し、琉球空手や古武道を披露していただいた。

文化祭は、展示の部、芸能の部ともに、文化活動の成果発表の場として多くの方が作品や演技、演奏などを披露した。

両事業ともに、来場者をどう増やしたら良いかという部分が課題であり、今後はPR方法だけでなく、事業の内容も見直していきたい。

(6) 学校部活動地域移行検討委員会

① 設置の経緯

全国的に少子化が進む中、中学校の部活動はこれまでの体制で運営することが難しくなっており、部員数が減少してチームができない、教員数の減少により顧問を配置できない等の問題が起きている。これは、蟹江町においても例外ではないため、国が示すガイドラインに沿ってまずは休日の部活

動について改革を進めることとし、蟹江町学校部活動地域移行検討委員会を設置して部活動改革の方向性について協議を行った。

② 開催時期 不定期（令和6年度は4回）

③ 構 成 員 学校部活動地域移行検討委員会委員（教育長、蟹江中学校校長、蟹江北中学校校長、蟹江小学校校長、蟹江中学校PTA会長、蟹江北中学校PTA会長、スポーツ推進委員会会長、地区スポーツ協力員会長、スポーツ協会会長、スポーツ少年団本部長、文化協会会長、総合型地域スポーツクラブ理事長）、教育部次長、教育課長、教育課主幹、教育課係長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、生涯学習課スポーツ係長、生涯学習課主任、部活動地域移行コーディネーター（3回目より）

④ 会議の運営状況

令和6年度における蟹江町学校部活動地域移行検討委員会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和6年 6月26日（水）	【件名】 (1) 学校部活動の地域移行等に関する国の方針等について (2) 蟹江町の部活動の現状について (3) 他自治体の現状について
令和6年 10月8日（火）	【件名】 (1) 10月7日開催の愛知県部活動の地域移行・地域連携協議会の報告 (2) 学校部活動地域移行実証事業について ① 全国の先進事例について ② 海部地域の動向について ③ 令和7年度 蟹江町部活動地域移行実証事業について
令和7年 2月4日（火）	【件名】 (1) 1月30日開催の愛知県部活動の地域移行・地域連携協議会の報告 (2) 部活動改革の今後の方向性について (3) 令和7年度以降の蟹江町の部活動・クラブ活動について ① 令和7年度 蟹江町部活動地域移行実証事業について ② 実証事業以外の取組について ・周知チラシについて ・アンケート結果のホームページ掲載について
令和7年 3月4日（火）	【件名】 (1) 蟹江町の中学校部活動改革周知チラシについて

(2) 令和7年度のスケジュール（案）について

〔点検・評価〕

中学校の部活動改革については、スポーツ庁や文化庁の呼びかけにより、全国的に取組が進み始めたところである。蟹江町では令和5年度に小中学生や保護者、教員、関係団体に事前アンケートをとり、令和6年度から検討委員会を設置して本格的に話し合いを進め、令和9年9月から休日の地域クラブを本格始動させる方針となった。今後も中学生たちが地域のスポーツや文化活動に親しむ機会が持てるよう、先進事例や近隣の状況、学校現場の状況等を確認しながら検討し、より良い環境を整えたい。

3 歴史民俗係

(1) 蟹江町歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数

開館日数 305日

入館者数 4,672人

1日当たり 15人

〔点検・評価〕

入館者数は前年度に比べやや減少しているが、出張展示や出前講座など、館外での活動が多くなったことも影響していると考えられる。今後、もっと資料館に足を運んでいただけるような工夫をしていきたい。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 5,013点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

宇佐美江中 掛軸 2点

山田玉田 掛軸 4点

森本三鎧 掛軸 2点

飯田棲山 額 1点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から教科書等30点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

令和6年度においては、購入資料9点、寄贈資料30点、合計39点の資料を収蔵した。大切に保管するとともに、特別展や企画展だけでなく、順次ホームページで画像を公開し、紹介していきたい。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

ア 企画展

- ・「出張！ちょこっと思い出して昔の蟹江～昭和40年代前半の町並み～」

展示期間 令和6年4月27日（土）～6月2日（日）

開催場所 多世代交流センター泉人

- ・「出張第2弾！ちょこっと思い出して昔の蟹江～昭和40年代前半の町並み～」

展示期間 令和6年12月14日（土）～令和7年1月29日（水）

開催場所 蟹江町図書館

- ・「昭和のひなまつり」

展示期間 令和7年2月1日（土）～3月2日（日）

開催場所 企画展示室

- ・「ちょこっと思い出して昔の蟹江～昭和40年代前半の町並み～」

展示期間 令和7年2月4日（火）～3月16日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

- ・「小酒井不木の書跡と蔵書」

展示期間 令和7年3月29日（土）～5月11日（日）

イ ミニ企画展

- ・「神田鐳藏と渋沢栄一」

展示期間 令和6年8月15日（木）～令和7年3月2日（日）

開催場所 企画展示室前

〔点検・評価〕

展示活動は、資料を調査研究したうえで公開するという資料館の重要な事業の一つであり、常設展に加えて期間やテーマを設定して企画展を開催している。

令和6年度においては、出張展示を行ったことで、昔の蟹江について多くの方に知ってもらうことができたと同時に情報収集をすることができた。また、小酒井不木の展示では、新しく収蔵した資料の一部を初公開し、紹介することができた。さらに、新札の発行に合わせて当町出身の神田鐳藏と渋沢栄一との交流に関する展示を行った。今後も多くの方に蟹江町の歴史文化を知っていただけるよう、企画していきたい。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

令和6年度においては、舟入地区の民俗調査及び蟹江家資料の調査を行った。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

「蟹江町歴史民俗資料館年報第45冊」発刊

② おうちミュージアムの開設

おうちミュージアムは、令和2年3月に全国の学校等が休校になったことから、子どもたちが家でも楽しく学べるようにと、北海道博物館が取り組み始めたもので、主旨に賛同した博物館や資料館がホームページ上で学習に役立つクイズやパズルなどを公開している。蟹江町歴史民俗資料館では令和2年5月から開設し、毎年更新してきた。令和6年度に実施した内容は次の通り。

- | | |
|--------------|------------|
| ・「晴明塚について」 | 令和6年 8月更新 |
| ・「神田鐮藏と渋沢栄一」 | 令和6年 9月更新 |
| ・「蟹江町と伊勢湾台風」 | 令和6年 10月更新 |
| ・「蟹江町の橋について」 | 令和7年 3月更新 |

③ 文化財資料データベース作成・公開

文化財保存活用地域計画のリストにある町内の指定等文化財と未指定文化財に加え歴史民俗資料館収蔵資料の情報をデジタルデータベース化し、その一部をインターネットで公開して検索・閲覧できるようにした。

④ 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

蟹江町歴史民俗資料館年報第45冊については、県内の各市町村教育委員会及び博物館等の関係機関に寄贈するほか、窓口で有料配布を行っており、町ホームページでの周知も新たに行った。おうちミュージアムは、いつでも蟹江の歴史文化を調べることができると、大人にも評価の声をいただいている。令和6年度は新たに文化財資料リストのデータベース化に着手した。今後公開できる内容を増やして充実させていき、情報発信を加速させるとともに、文化財の適正管理に役立てていきたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	産業文化会館（中央公民館分館）ほか		
	開催数	募集人員	参加数
はじめての古文書	5回	30人	27人
「かにえ地域学」講座	4回	30人	18人
かにえキッズ調査隊	5回	15人	16人
文化財研修会	1回	80人	70人

② 出前講座

町民に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が地域に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	内容	実施場所	人数
令和6年4月19日（金）	蟹江の歴史	北之町公民館	28人
令和6年5月7日（火）	昭和30・40年代の蟹江の町並みについて	多世代交流センター 泉人	19人
令和6年5月16日（木）	蟹江町の歴史と文化 蟹江城と蟹江合戦の概要	富吉コミュニティー 会館	8人
令和6年6月1日（土）	ちょこっと思い出して 昔の蟹江～昭和40年代 前半の町並み～	北之町公民館	17人
令和6年7月3日（水）	地図と写真で見るまち のうつりかわり	南蟹江団地集会所	22人
令和6年10月18日（金）	農業と生活	南陽高等学校	19人

③ 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	内容	実施校	学年
令和6年7月10日（水）	蟹江のまちのうつりかわりについて	舟入小学校	3年
令和6年7月12日（金）	蟹江の郷土食について	舟入小学校	3年
令和6年11月8日（金）	須成祭について	舟入小学校	3年
令和6年12月11日（水）	昔の暮らし・昔の道具	舟入小学校	3年
令和6年12月18日（水）	須成祭について	舟入小学校	4年
令和7年1月29日（水）	昔の蟹江をしらべてみよう	蟹江小学校	3年

〔点検・評価〕

近年、出前講座や出前授業の依頼が増加傾向にあり、蟹江町の歴史文化について、自ら学びたい、仲間と学びを共有したいという意識が大きくなってきていると感じる。今後も継続して関心を持ってもらえるように努力を続けていきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議会の開催状況

文化財保護審議会の構成

- ・開催時期 不定期（審議すべき事案がある時に開催）
- ・構 成 員 文化財保護審議会委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、主任学芸員、学芸員

② 会議の運営状況

令和6年度における蟹江町文化財保護審議会の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和6年 7月4日(木)	【議題】 1 会長の選出について 2 蟹江町文化財保存活用地域計画作成後の文化財保護事業について

(2) 文化財保護等事業費補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補 助 事 業 数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め5事業

補助団体・件数：須成文化財保護委員会始め16団体・18件

町 費 補 助 額：2,726,000円

(3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会や保存団体に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や太鼓等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 令和6年10月13日(日)

協力団体 蟹江新町日吉神楽保存会、本町分神楽保存会、今神楽保存会、西大海用神楽太鼓保存会、東大海用神楽保存会、舟入神楽保存会、源才神楽保存会

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を1～2月を除く毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(5) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の啓発活動を実施した。

また、文化財についての理解を深め、次世代へ伝えていくために、各種講座を開催した。

講座・教室名	町内文化財所在地等		
	開催数	募集人員	参加数
須成祭マイスター養成講座	6回	20人	7人
須成祭体験講座	1回	25人	7人
歴史探訪講座 蟹江城調査隊	4回	20人	16人
ガイドボランティアと蟹江を学ぼう！	4回	20人	16人

〔点検・評価〕

文化財保護等事業費補助事業では、少子化等で伝承者が減少して伝承が難しいという声があった一方、子どもたちに伝統芸能に親しんでもらえるよう工夫をしているという団体もあった。地域によってさまざまな伝承への課題があるため、地元の人々の声に耳を傾けて対応していきたい。

講座では、実際に文化財所在地を訪れ見学したり体験したりする内容を盛り込み、それぞれ実施した。ガイドボランティアと蟹江を学ぼうでは、受講後にガイドボランティアに入会した受講者もあり、担い手の育成に効果があった。

5 生涯スポーツ係

(1) 生涯スポーツ事業

各種スポーツ教室

活き生きかにえスポーツクラブと連携（事業委託）し、町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
大人の運動教室	10回	30人	12人	蟹江中央公民館分館
やさしいピラティス	10回	40人	52人	蟹江中央公民館分館
大人が楽しむチアダンス	10回	40人	29人	蟹江中央公民館分館
親子でカローリング	10回	14人	5人	蟹江町体育館分館

なわとび教室	4 回	100人	33人	蟹江町体育館
--------	-----	------	-----	--------

〔点検・評価〕

生涯スポーツ事業については、生き生きかにえスポーツクラブに5事業を委託（実施）した。引き続き「町民の体力向上と健康増進」を目標として、受講者のニーズを考慮し、連携をとりながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

- ① スポーツ推進委員 17人（任期 令和6年度・令和7年度）
- ② 地区スポーツ協力員 41人（任期 令和5年度・令和6年度）
- ③ 各種研修会

・指導者研修会

第1回 令和6年5月7日（火） 種目：ペタンク、ラダーゲッター

第2回 令和6年5月28日（火） 種目：モルック、キンボール

第3回 令和6年6月4日（火） 種目：カローリング、ボッチャ

・スポーツ推進委員研修会

令和6年9月21日（土）蟹江町スポーツ推進委員管外研修

（豊田市小原町（豊田市役所小原支所、おばら四季の回廊））

令和6年8月31日（土）海部南部地区スポーツ推進委員研修会

（飛島村社会教育センター総合体育館）

※台風接近により中止

令和6年9月7日（土）愛知県スポーツ推進委員研修会

（メディアス体育館おおぶ）

令和6年11月2日（土）西尾張地区スポーツ推進委員研修会

（名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市文化会館））

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、研修会へ積極的に参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康の保持増進を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、各地域で活動しているスポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。今後も相互が連携し、研修会で学んだことを活かし、各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

- ① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立、平成26年10月29日にNPO法人を取得。

- ・役員 理事 5人 監事 1人
- ・会員数 294人
- ・講座数 通年講座:13講座 特別講座:4講座
サポート講座:1講座
- ・交付金 1,500,000円

② 蟹江町スポーツ協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

- ・16団体 1,072人 補助金 2,246,400円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・支援する。

- ・16単位団 団員562人 指導者124人 補助金845,900円

〔点検・評価〕

総合型地域スポーツクラブ「活き生きかにえスポーツクラブ」は平成22年に設立され、令和6年度で15年目となり、順調に運営されている。また、スポーツ協会・スポーツ少年団に関しても会員数が増加し、活発に活動している。今後、部活動の地域移行を進めるうえで、各団体の協力は欠かせないものになってくるので、連携をとりながら事業展開していきたい。

(4) 各種協議会・大会の開催

① スポーツまつり2024

老若男女、誰もが気軽にできるスポーツを通して、個人の健康維持を図るとともに、家族間、友人間の親睦を深める目的で開催した。

- ・開催日 令和6年10月5日(土)
- ・開催場所 蟹江町体育館(雨天により屋外は中止)
- ・参加者数 80人

② 第45回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催している。場所は、蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部は「5人1組 約7.5km」を走り、小学生以外の部は「5人1組 約12km」を走る2部門で実施した。

- ・開催日 令和7年1月26日(日)
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺
- ・参加チーム数 60チーム

③ みんなで歩こう会

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親

睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 令和6年11月24日(日)
- ・開催場所 豊田市小原地区
- ・募集人数 60人
- ・参加人数 41人

④ 愛知万博メモリアル第17回愛知縣市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催された本大会に参加した。

- ・開催日 令和6年12月7日(土)
- ・開催場所 愛・地球博記念公園
- ・結 果 町村の部 第5位

〔点検・評価〕

各事業をスポーツ推進委員や地区スポーツ協力員などの協力を得て実施した。スポーツまつりは天候の影響で縮小開催となったが、スポーツの楽しさを経験する良い機会となった。蟹江町駅伝大会は、海部地域唯一の大会であり、多数の参加チームが速さを競った。今後参加資格等も見直ししながら安全に開催できるよう進めていきたい。みんなで歩こう会については、参加者が減少傾向にあるため、その要因等を分析し、見直しをする必要がある。

(4) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 9人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 4人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町スポーツ協会などが実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを作成し広く配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 5月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

女性対策

女性団体活動促進事業

蟹江町ボランティア会（婦人会） 活動事例発表

開催日 令和6年11月20日（水）

開催場所 弥富市総合社会教育センター

〔点検・評価〕

令和6年度より、蟹江町婦人会は、ボランティア会（婦人会）と呼び方を変え、誰もが活動に参画できる団体へと生まれ変わった。参加対象の垣根を取り払ったことで、真の男女共同参画社会の推進へとつながる大きな一歩となった。

7 施設係

生涯学習施設、設備及び備品の整備

- ① 町ホームページの生涯学習施設のページをリニューアルし、施設内容や利用申請の方法等を分かりやすく表示したことで、より一層の利用促進を図った。
- ② 町内の小・中学校の屋内（学校体育施設）を、町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。
- ③ 適正な施設運営のため、以下の施設や設備の改修や修繕を行った。
 - ・希望の丘広場フットサルコート改修工事
 - ・蟹江中央公民館事務室空調設備修繕工事
 - ・蟹江中央公民館第2会議室空調設備修繕工事
 - ・蟹江中央公民館舞台機構減速機オイル交換等修繕
 - ・蟹江中央公民館分館自家発電設備修繕工事
 - ・蟹江町体育館分館浄化槽付帯設備修繕

〔点検・評価〕

近年、施設の利用申請の方法や体育館の利用状況についての問い合わせが多くなっていたため、ホームページの施設紹介のページを見直したことで、利便性を向上させることができた。

生涯学習施設の整備については、随時改修工事や修繕を行ってきているが、全体的に老朽化が進んでいる。また、災害時に避難所となる施設については、災害時でも安心して過ごせるような環境整備が必要となる。これらを考慮に入れ、今後、計画的に施設改修を行っていかなくてはならない。